



## 県内市 3例目

# 熊谷市、秩父市に続いて 男性HPVワクチン接種費用補助を開始

本市では、4月1日(火)より、HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染予防を目的に、男性へのHPVワクチン任意予防接種費用を補助する新事業を開始します。対象は、本市に住民登録がある小学校6年生から高校1年生相当の年齢の男性としています。

HPVワクチン接種は女性では定期予防接種として無料(全額公費)、男性は任意予防接種で全額自費となり、3回接種で約4~5万円かかります。

日本での肛門がんの約8~9割はHPVが原因と言われており、HPVワクチンで予防できると考えられています。

またHPVは性交渉により男女間で感染を繰り返すため、男性がHPVワクチンを接種することで、女性がHPV感染から守り、集団免疫効果によりHPVを原因とする疾患の罹患率の減少が期待できます。そのため、男性だけでなく、将来の大切なパートナーを病気から守ることにつながります。



### 対象者

以下の要件をすべて満たす人

- ① 接種日において北本市に住民登録がある男性
- ② 接種日において小学校6年生から高校1年生相当年齢までの人

### ワクチン

組換え沈降4価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン(ガーダシル®)

### 補助額

接種を行った医療機関に対し支払った費用の実費額または市が定める上限額のいずれか少ない額

### 補助方法

所定の様式に、必要書類(本人確認ができる書類、振込先等が分かるものの写し、実費額等を証明できる書類の原本、接種の記録が確認できるものの写しなど)を添えて、接種日から1年を経過する日までに窓口へ申請していただき、後日、補助額を振り込みます。

### 接種スケジュール

十分な予防効果を得るためには合計3回接種が必要です。

標準的な接種間隔は、2か月あけて2回、1回目から6か月あけて3回目を接種します。

### 担当者コメント

ワクチンを接種することでがんや性感染症のリスクを減らし、自身や将来の大切なパートナーの健康や命を守ることができます。HPVに感染する前に接種することが大切となりますので、ぜひワクチン接種を検討していただきたいと思います。

市ホームページ  
はこちら▶

